事例No.	1891
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	富山県

事例区分	公営企業

タグ	・電気事業 ・組織改革 ・EBPM

事例種類	経営戦略

事例内容・タイトル

新たな経営環境の変化等を踏まえた経営戦略の改定

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【富山県】
新たな経営環境の変化等を踏まえた経営戦略の改定

経営戦略 **電気事業**

富山県企業局経営管理課・電気課

● 取組の概要

経営戦略の策定から5年が経過したため、富山県企業局の中長期的な経営の基本計画である「富山県企業局経営戦略（平成29年3月策定）」を改定した。

◆総事業費　委員報酬187千円、会場費71千円

◆背景

- 経営戦略の策定から5年が経過したことから、現行戦略の進捗について評価するとともに、新たな諸課題等へ対応する必要があった。
- このため、脱炭素化への対応やICTなど先端技術の進展、経営上の課題等を踏まえ、経営戦略を見直すこととした。

◆具体的内容

- 施設の老朽化への対応など従来の課題に加え、脱炭素化の推進に資する再生可能エネルギーの供給増やICT等を活用した発電施設の高効率化への取組項目を追記した。
- 専門的な業務を担う人材を確保する観点から、より若い世代を対象に、企業局の魅力を紹介する動画の作成や、SNS等による情報発信等の取組項目を追記した。

◆効果

- 目標達成に向けた具体的な取組を踏まえ、投資・財政計画を見直すなど、中長期的な経営見通しを立案・実行することが可能となった。
- 新たな数値目標（発電能力、CO2削減効果等）を設定することにより、進捗状況についてより客観的に評価・分析し、今後の取組に反映することが可能となった。

● 取組のポイント

- 有識者や県民からの意見を反映するため、学識経験者など外部委員により構成する検討委員会を設置するとともに、パブリックコメントを実施した。
- 県民の真の幸せ（ウェルビーイング）の向上を目指すため、本県の貴重な水資源を活かすとともに、先端技術や民間活力等も取り入れた。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　1,022,755人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　4,248km^2（令和4年1月1日時点）
- 年間発電電力量　480,185MWh（令和3年度決算）

● 取組のスケジュール

- 平成29年3月　経営戦略を策定。
- 令和3年度　経営戦略の改定に向けた検討を開始するとともに、検討委員会を設置。
- 令和3年10月　第1回検討委員会を開催。
- 令和3年12月　第2回検討委員会を開催。
- 令和4年3月　第3回検討委員会を開催。
- 令和4年5月　パブリックコメントを実施。
- 令和4年6月　県議会に報告するとともに、パブリックコメント実施結果を公表。
- 令和4年7月　経営戦略を改定・公表。

● 今後の展望

- 毎年度進捗状況を評価し、現状と乖離がある場合には、原因を分析した上で、次年度以降の取組に改善後の内容を反映していく。
- 今後も引き続き、社会経済情勢の変化等に応じ、3～5年毎に必要な見直しを行う。